



3層吹き抜けのエントランスホールの空間を走るライン照明は、上方光で天井面を照らすとともに、床面に地明かりを確保している。このため高天井用照明器具は設置されていない

防府市新庁舎

防府市の長い歴史と未来を表現した庁舎内空間を貫く1本のLED照明

山口県中央部に位置する防府市は、長い歴史を持つ交通の要衝である。防府市役所旧庁舎は築70年を経過し耐震性も無いことから、新庁舎建設にあたっては、大規模災害に備える防災拠点としての機能強化と市民サービスの向上が課題とされた。建物は9階建の本館と2階建の福祉棟から構成されており、県の防府総合庁舎機能が入居することにより、市民生活や防災機能連携を強化した全国でも珍しい複合庁舎となっている。新庁舎の設計コンセプトは「安全・安心の拠点となる、まちの顔としての庁舎」。行政サービス提供だけ

でなく、誰もが気軽に立ち寄れる憩いの庁舎がめざされ、自然光を取り入れる大きなガラスカーテンウォールや、県産杉などの木材をふんだんに用いることで、明るく開放的な空間が作り出されている。最上階である8階には市民に開放される多目的会議室や展望回廊も配置されている。照明計画では自然光と間接光の併用により照度確保と省エネを両立。1～3階では、吹き抜け空間を立体的に貫く印象的なライン照明が、防府市の長い歴史的時軸と希望ある未来の姿を、宙に浮かぶ長い光跡として象徴的に表現。これにより、天井面に照明器具を設置することなくメンテナンスも容易となっている。



撮影：はなファクトリー 津布久智

防府市新庁舎

所在地／山口県防府市寿町
 事業主／防府市
 設計／久米設計・巽設計・和建築設計事務所 共同企業体
 監理／株式会社久米設計
 建築工事／熊谷組・藤本工業・澤田建設・山陽建設工業 共同企業体
 電気工事／中電工・大海電機・日生電機 共同企業体
 竣工／2024年10月
 規模／地上9階建(延床面積：19,778.87㎡)



本館と福祉棟をつなぐデッキを貫くライン照明



福祉棟2階の多目的スペースからデッキへと続くライン照明



8階防府市文化センターには、建築施工の吊物の上下にライン照明を配置



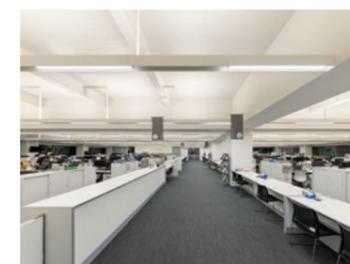
8階ロビー天井の県産杉ルーバーの間に吊り下げられた特注ダウンライト



回遊式の展示ギャラリーとしても利用できるように計画された8階展望回廊



エレベーターホールのダウンライトとコニス照明



執務室に吊り下げられた筐体の中にライン照明を上下に配置



上方光のみを点灯した照明環境

主な納入設備

- 建築化照明器具(ライン照明)
- シームレス建築化照明器具
- LEDダウンライト